

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	AA363／キリスト教学講義 9 (Lectures on Christian Studies 9)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	神学思想 1		
担当者名 (Instructor)	鳥居 雅志(TORII MASASHI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CHS2803	言語 (Language)	その他 (Others)
備考 (Notes)			

授業の目標 (Course Objectives)

キリスト教が語ろうとしているところを、仏教との対話などを通して現代日本において提唱された「場／無の神学」(代表的人物として、八木誠一、小田垣雅也、小野寺功、井上洋治らが挙げられる)などの観点から捉えていき、そこから「われわれ」のあり様について考察していく。

We will grasp what Christian (theological) ideas attempt to convey from the perspective of the “theology of field(/place)/nothingness” that was advocated in contemporary Japan through dialogues with Buddhism (leading figures include Seiichi Yagi, Masaya Odagaki, Isao Onodera, and Youji Inoue). Then, based on them, we will consider how we are.

授業の内容 (Course Contents)

キリスト教が語ろうとしているところを、現代日本において提唱された「場／無の神学」などの観点から捉えていく。その後、「場／無の神学」／無の神学」を提唱した八木誠一、小田垣雅也、小野寺功、井上洋治らによって論じられていることを検討するとともに、そこで語られている我々／われ－われ／われわれ」のあり様について考察していく。

なお、毎授業後にコメントを提出してもらおう。提出してもらったものの幾つかは、個人が特定されないようにした上で共有したいと思っている。授業は提出してもらったコメントの紹介や、コメント同士の議論、疑問への応答、コメントへの応答などをしつつ進めていくため、積極的な参加を望む。

また、進め方や扱う内容も、コメントから窺える受講者の興味などにより適宜調整する予定である。

理解を深めるために、補助教材として映像資料を用いることも考えている。

(「神学思想 1」は基本的に概要を見ていくものであるが、「神学思想 2」と重複する部分もあることをご承知願いたい。)

We will grasp what Christian (theological) ideas attempt to convey from the perspective of the “theology of field(/place)/nothingness” that was advocated in contemporary Japan. Then, based on them, we will consider the arguments of Seiichi Yagi, Masaya Odagaki, Isao Onodera, Youji Inoue, who advocated the “theology of field/nothingness,” and also consider how we are.

After the class, you will submit your opinions and questions in a reaction paper. Some of them may be shared in the class in an anonymous form. It is desirable that you participate actively, as the class will involve sharing submitted comments, discussions between students with different views, answering questions and comments.

As necessary, the schedule and content of classes may be adjusted according to your interests from your comments suggested.

In order to deepen your understanding, we may use visual materials as supplementary course material.

Theological Ideas 1 basically offered an overview. But we will treat some areas covered in Theological Ideas 2.

授業計画 (Course Schedule)

1. 導入
2. 「キリスト教」とわれわれ 1
3. 「キリスト教」とわれわれ 2
4. 「キリスト教」とわれわれ 3
5. 「キリスト教」とわれわれ 4
6. 「キリスト教」とわれわれ 5
7. 「無／場の神学」1
8. 「無／場の神学」2
9. 「場／無の神学」3
10. 「場／無の神学」4
11. 「場／無の神学」5
12. 「場／無の神学」の展開の可能性 1
13. 「場／無の神学」の展開の可能性 2
14. まとめ

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

共有化したコメントは必ず読んでおいて欲しい。また、授業時に紹介する参考文献のうち、興味のあるものを数冊読み、見解を深めてもらいたい。

成績評価方法・基準(Evaluation)

最終レポート(Final Report)(40%) / 毎回の課題コメント(40%) / 授業への参加協力度(20%)

2/3 以上の出席がない場合は成績評価の対象としません。なお、授業内に設ける出席確認時間に行っていただく「出席のご登録」と授業後の「コメントの提出」の両方を以て「出席」と見做します。また、他の学生の学びを妨害するような行為や不正と見做されるような行為はご遠慮ください(酷い場合には、大幅な減点をします)。

テキスト(Textbooks)

なし。

参考文献(Readings)

授業時に適宜紹介します。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)